

**令和2年度「教員の個人業績評価結果」
に関する報告書**

令和4年3月

大学評価室

1. 教員の個人業績評価の実施結果 [2020 年度]

対象部局	在職教員数	評価除外者数	評価対象教員数	実施教員数	評価実施率
学部・大学院	507	98	409	402	98.3%
その他部局	248	73	175	169	96.6%
合計	755	171	584	571	97.8%

※在職教員数とは、当該年度3月31日現在の教員数を示す。

※評価除外者数とは、在籍期間が1年に満たない教員数（新規・中途採用、退職・転出等が明らかな教員）、部局等の長、テニユアトラック教員、特命教員及び寄附講座等教員、年俸制教員を示す。

※実施教員数とは、教員業績情報システムに登録されている教員のうち、評価が実施された教員数を示す。

※評価実施率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示。

2. 教員の個人業績評価の集計方法

教員業績情報システムに登録されている教員のうち、評価が実施された教員を示す「実施教員数」のデータを使用して、クロス集計及び傾向等の分析を行う。

対象とした部局は、表1のとおり。ただし、「2020年度の評価実施率が25%未満の部局」又は「評価対象教員数が5名未満の部局」については、評価結果を表示しないものとする。

表1 評価対象部局

対象部局	2020 年度
学部・大学院	地域学部 医学部 工学部 農学部
その他部局	乾燥地研究センター 教育支援・国際交流推進機構 研究推進機構 医学部附属病院

- 教員の自己評価及び評価者の評価結果とは、以下の区分及び判断基準を使用したものである（表2）。

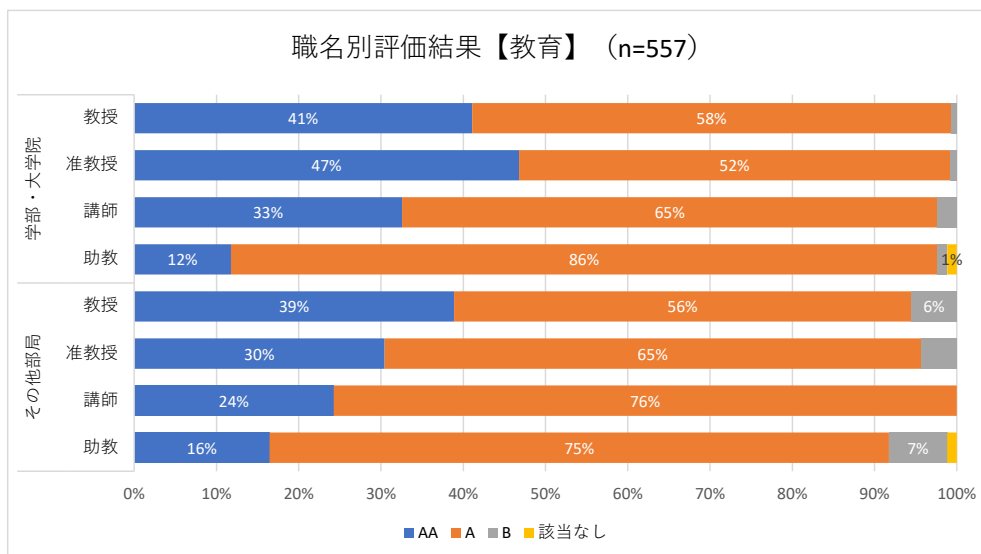
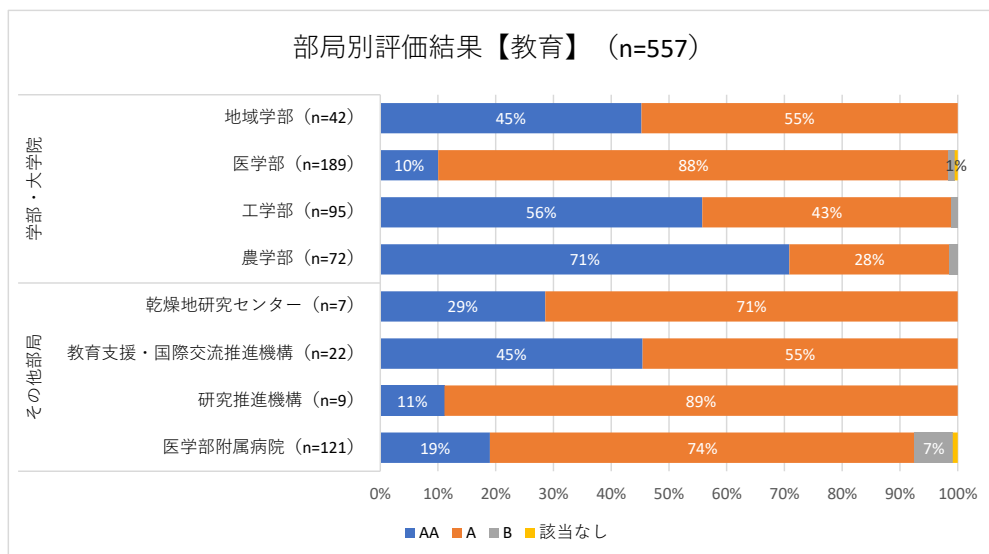
表2 自己評価及び評価結果の判断基準

区分	判断基準
AA	活動実績について十分満足できる
A	活動実績について満足できる
B	活動実績について満足できない

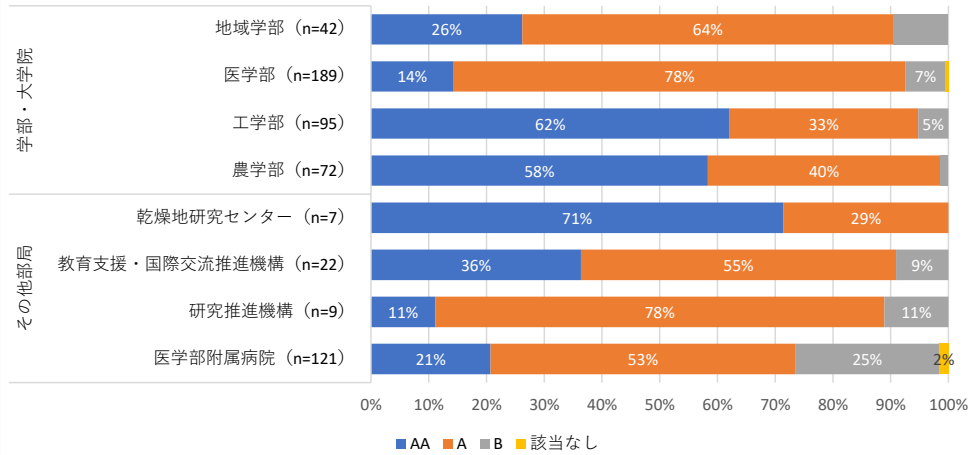
3. 評価者の評価結果 [2020 年度]

2020 年度において、評価者が判定した評価結果を部局別及び職名別に示す。

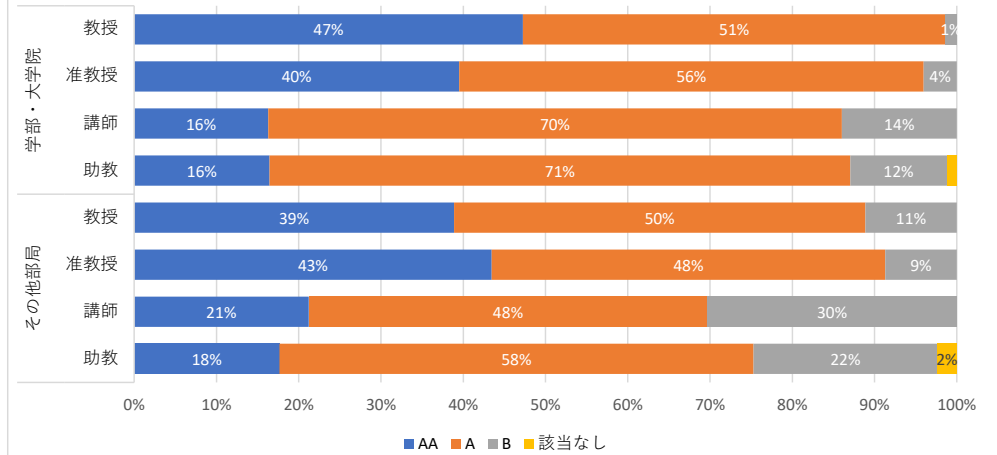
- **【教育】** 工学部及び農学部では 5 割以上の教員で評価が高いものの、医学部及び研究推進機構では 1 割程度である。職名別では、学部・研究科では「准教授」、その他部局では「教授」の評価が高く、職位が下がるにつれて AA 評価の割合は減少傾向にある。
- **【研究】** 工学部、農学部及び乾燥地研究センターでは 5 割以上の教員で評価が高いが、医学部附属病院では 2 割以上が「B 評価」である。職名別では、学部・研究科及びその他部局とも「教授」や「准教授」の評価が高いが、「講師」や「助教」の評価は低くなる（B 評価の割合も増える）傾向がみられる。
- **【社会貢献・国際交流】** 農学部では 5 割の教員で評価が高いが、その他部局において「該当なし」の割合が一定数みられる。職名別では、学部・大学院において職位が上がるにつれて評価が高くなる傾向にある。その他部局において、助教の「該当なし」は学部・大学院の助教の 2 倍程度あり、他の職種でも 2 割弱ある。また、その他部局の全職名において、B 評価も一定数みられる。
- **【管理・運営】** 農学部では 5 割の教員で評価が高いが、医学部及び医学部附属病院では 2 割弱が「該当なし」である。職名別では、学部・大学院及びその他部局において、職位が上がるにつれて評価が高くなる傾向にあり、特に「教授」の割合は他の職名の 2 倍以上である。また、学部・大学院及びその他部局において、助教の「該当なし」が 2 割以上を占めている。
- **【診療】** 医学部附属病院では 4 割以上の教員で評価が高い。職名別では、その他部局において、「講師」や「助教」の評価が高い。



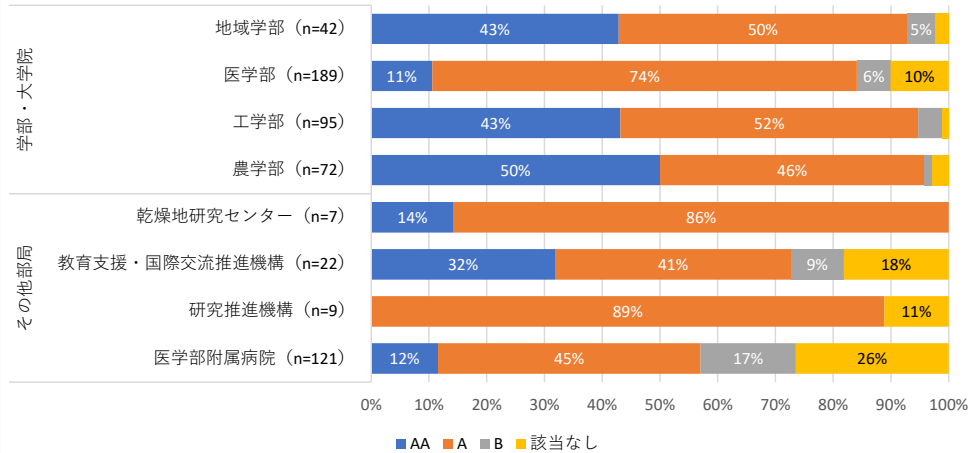
部局別評価結果【研究】 (n=557)



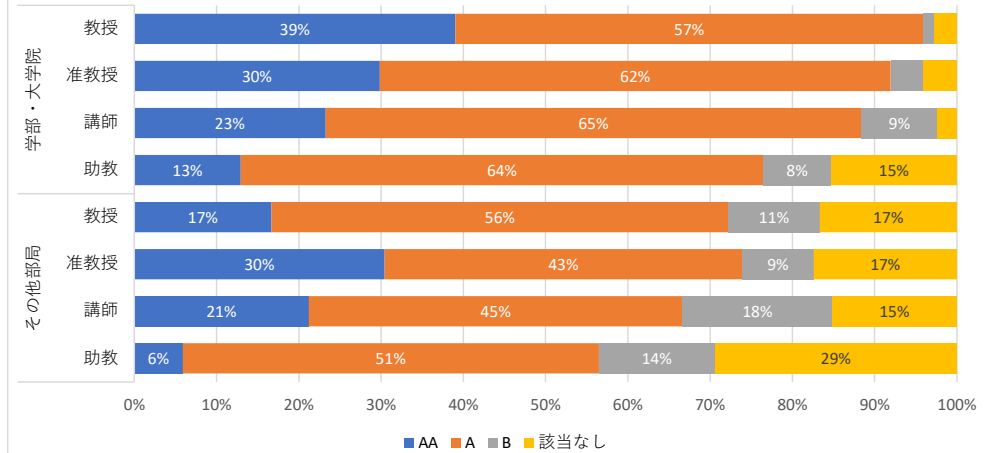
職名別評価結果【研究】 (n=557)

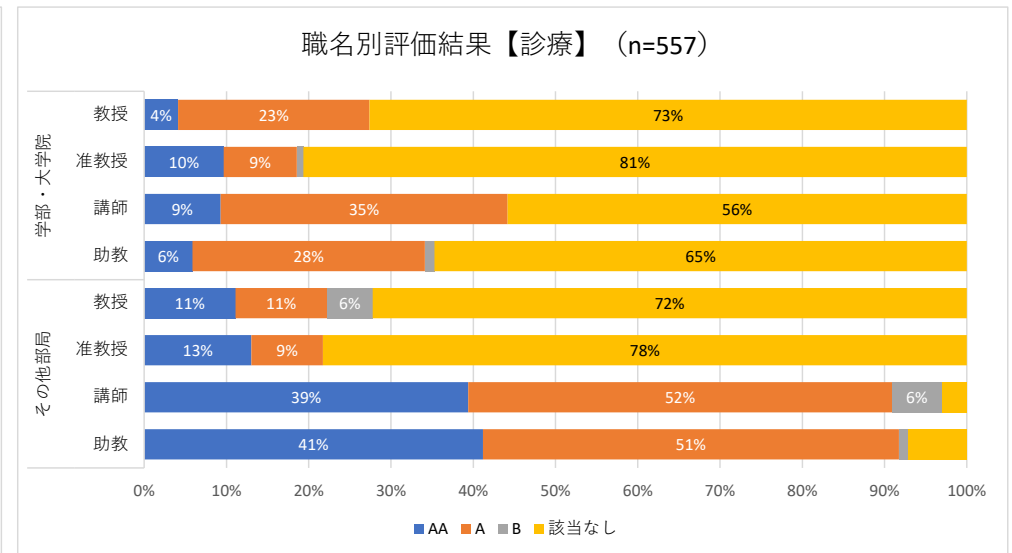
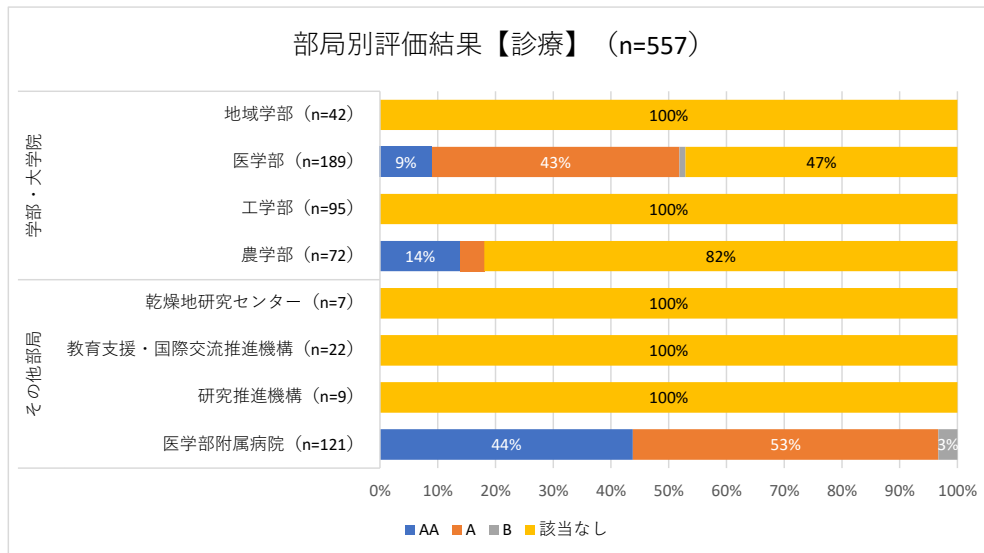
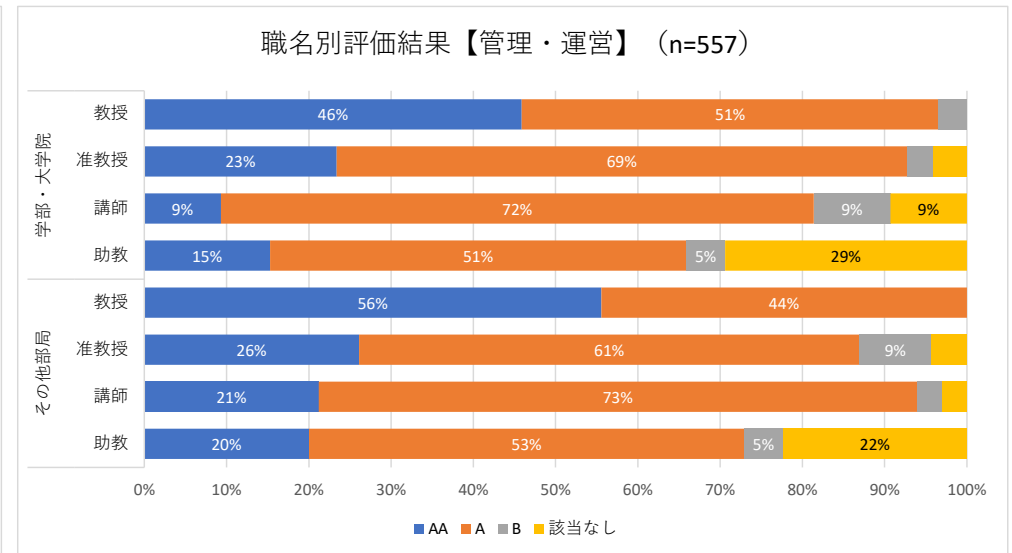
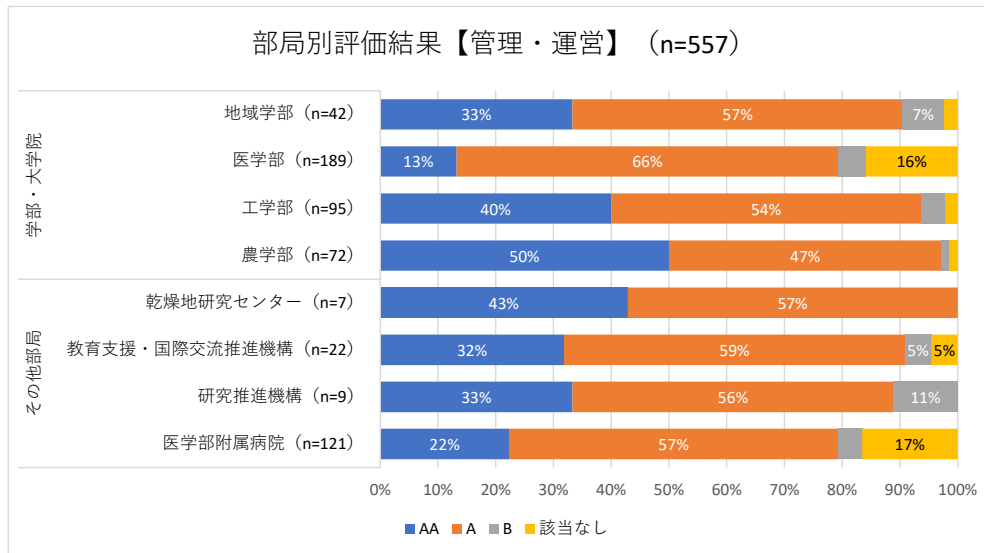


部局別評価結果【社会貢献・国際交流】 (n=557)



職名別評価結果【社会貢献・国際交流】 (n=557)





※評価結果の割合は、小数点以下第1位を四捨五入して表示。